ライフサイエンス

高選択的酵素を用いたD−およびL−アミノ酸定量キット・バイオセンサーの開発

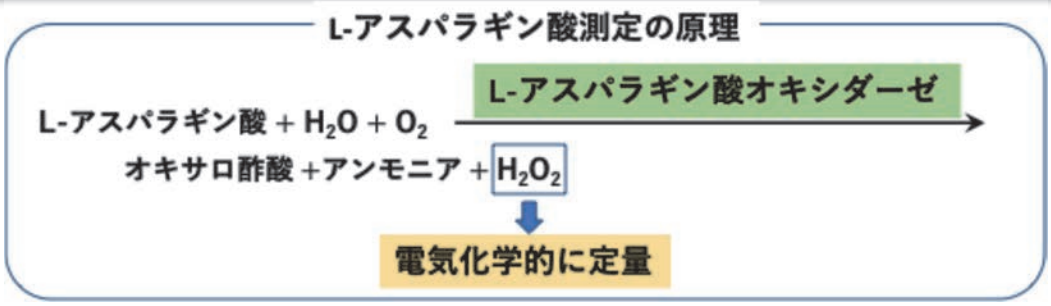
用途・応用分野

食品・発酵産業における品質管理、医薬品原料中アミノ酸分析、臨床検査、研究用途の迅速定量、各種バイオセンサー開発。

本技術の特徴・従来技術との比較

L−アスパラギン酸は、アミノ酸輸液、調味料、フレーバー原料などに利用されている。近年では、バイオ医薬品生産時に培地へ添加することで生産性向上への寄与も報告されている。本技術によりL−アスパラギン酸を迅速・簡便に定量できれば、食品分野での品質管理に加え、抗体医薬などバイオ医薬品製造工程の効率化・高生産化への応用が期待される。

技術の概要





L−アスパラギン酸定量用酵素センサー

製造・発売元：
王子計測機器株式会社
兵庫県尼崎市常光寺4−3 −1
TEL 06−6487−1032

特許・論文

＜特許＞

「酵素固定化体及びそれを備えた測定装置ならびにアスパラギン酸及びL−アスパラギン酸の測定方法」
（特許第7748059号）
（共同発明者：奥河内貴大、林隆造
※王子ホールディングス株式会社）

研究者

老川　典夫
化学生命工学部　生命・生物工学科
酵素工学研究室

お問合わせ先
関西大学 社会連携部 産学官連携センター
TEL：06-6368-1245
MAIL：sangakukan-mm@ml.kandai.jp